

## 4 中学校各教科の調査結果の概要及び今後の指導について

### (1) 国 語

#### ア 個々の問題の概要及びその通過率

—評価の観点—			
話・聞	:	話す・聞く能力	
書 く	:	書く能力	
読 む	:	読む能力	
言 語	:	言語についての知識・理解・技能	

(◇:「活用」に関する問題)

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	活用	評価の観点	A設定通過率(%)	B通過率(%)	AとBの比較
A話すこと・聞くこと(1)1学年ア	1	一 発表の内容を正確に聞き取ることができる。	◇	話・聞	60	64	—
A話すこと・聞くこと(1)1学年イ		二 発表の構成について、正しいものを指摘することができる。	◇	話・聞	50	38	↓
A話すこと・聞くこと(1)2学年ウ		三 発表の内容を正確に聞き取り、より効果的な発表の仕方について説明することができる。	◇	話・聞	40	78	↑
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)1学年ウ(ア)(イ)2学年ウ(ア)(イ)	2	一 (1) 文脈の中で漢字〔改革〕を正しく読むことができる。		言 語	80	95	↑
		(2) 文脈の中で漢字〔興奮〕を正しく読むことができる。		言 語	80	99	↑
		(3) 文脈の中で漢字〔裁つ〕を正しく読むことができる。		言 語	80	76	—
	二 (1) 文脈の中で漢字〔半減〕を正しく書くことができる。		言 語	70	75	—	
	(2) 文脈の中で漢字〔批評〕を正しく書くことができる。		言 語	60	61	—	
	(3) 文脈の中で漢字〔備えて〕を正しく書くことができる。		言 語	70	78	↑	
三 (1) 文脈の中で誤って使われている漢字を見付け、正しい漢字を指摘することができる。	◇	言 語	60	45	↓		
(2) 文脈の中で誤って使われている漢字を見付け、正しい漢字を指摘することができる。	◇	言 語	30	9	↓		
伝統的な言語文化に関する事項(1)1学年ア(ア)	3	一 適切な古文の音読の仕方を指摘することができる。		言 語	80	67	↓
C読むこと(1)1学年ア		二 文章の展開に即して内容を的確に捉え、適切な語句を指摘することができる。		読 む	80	90	↑
小学校国語 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)1・2学年イ(カ)		三 文章中の示された述語に対する主語を指摘することができる。		言 語	50	66	↑
C読むこと(1)1学年ア 伝統的な言語文化に関する事項(1)1学年イ(ウ)		四 文章の展開に即して内容を的確に捉え、適切な語句を指摘することができる。	◇	読 む	50	86	↑
C読むこと(1)1学年ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)1学年イ(イ)	4	一 語句の意味を文脈に沿って読み取り、適切な表現に書き換えることができる。	◇	言 語	50	48	—
C読むこと(1)2学年ウ		二 文の表現の工夫について、適切なものを指摘することができる。		読 む	70	72	—
C読むこと(1)1学年エ		三 文章の内容や表現の特徴等を捉え、示された一文と同様の内容が書かれた一文を、文章中から指摘することができる。	◇	読 む	50	25	↓
C読むこと(1)1学年ウ		四 文章の内容を的確に捉え、述べている部分について、指定された語句を用いて書き換えることができる。	◇	読 む	40	44	—
C読むこと(1)1学年エ		五 段落相互の関係を正しく捉え、正しい接続語の組合せを指摘することができる。		読 む	50	75	↑
C読むこと(1)1学年エ		六 文章の構成や展開、表現の特徴等について、適切なものを指摘することができる。	◇	読 む	50	39	↓
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)1学年イ(エ)	5	一 示された文章中の部分について、単語の単位で分けることができる。		言 語	40	11	↓
C読むこと(1)1学年イ		二 文章の内容に即して内容を的確に捉え、示された一文が入る箇所を指摘することができる。	◇	読 む	50	76	↑
C読むこと(1)1学年イ		三 文章の内容を的確に捉え、述べている部分の理由について、指定された語句を用いて要約することができる。	◇	読 む	50	47	—
C読むこと(1)1学年ア		四 文章の内容を的確に捉え、ふさわしい語句を文章中から指摘することができる。	◇	読 む	50	46	—
C読むこと(1)1学年エ		五 筆者の文章の述べ方について、適切なものを指摘することができる。		読 む	60	49	↓
C読むこと(1)1学年オ		六 文章に表れている筆者のものの考え方について、文章中の語句を補充してまとめることができる。	◇	読 む	50	11	↓
B書くこと(1)1学年ウ	6	選択した理由を説明する文章を、資料の情報を基に条件に従って書くことができる。	◇	書 く	50	54	—

A設定通過率とB通過率を比較する際は、下記により判断する。

+5ポイントより上の場合:「↑」 ±5ポイントの範囲内:「—」 -5ポイントより下の場合:「↓」

評価の観点	話・聞	書 く	読 む	言 語
A設定通過率	50	50	54	63
B通過率	60	54	55	61

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容	設定 通過率	東 青 管 内		西 北 管 内					
			青森市	東郡	五所川原市	つがる市	西・北郡			
1	一	内容の聞き取り	60	63	63	57	62	62	60	62
	二	発表の構成の指摘	50	39	39	47	35	33	40	35
	三	効果的な発表の仕方の説明	40	75	75	67	85	88	87	82
2	一	(1) [改革(かいかく)]の読み方	80	96	96	95	95	94	96	95
		(2) [興奮(こうふん)]の読み方	80	99	99	99	99	99	100	99
		(3) [裁(た)つ]の読み方	80	73	73	71	77	74	78	81
	二	(1) [はんげん(半減)]の書き方	70	78	78	75	71	68	75	71
		(2) [ひひょう(批評)]の書き方	60	63	64	56	47	41	45	53
		(3) [そな(備)えて]の書き方	70	79	79	76	75	68	79	80
	三	(1) 誤字訂正(事→辞)	60	51	51	51	45	39	50	48
(2) 誤字訂正(執→採)		30	10	10	9	16	15	19	15	
3	一	音読の仕方の指摘	80	64	64	70	65	68	65	61
	二	語句の指摘	80	90	90	95	91	90	94	89
	三	主語の指摘	50	70	69	76	65	69	71	59
	四	語句の指摘	50	87	86	88	86	87	89	83
4	一	語句の書き換え	50	45	44	54	52	50	63	46
	二	表現の工夫の指摘	70	80	80	81	71	73	69	71
	三	文の指摘	50	29	29	25	21	20	26	20
	四	考えの説明	40	44	44	46	45	44	46	46
	五	接続語の組合せの指摘	50	75	75	78	77	79	78	75
	六	構成や展開、表現の特徴の指摘	50	42	41	53	37	38	41	35
5	一	単語数の指摘	40	15	14	25	12	11	17	8
	二	挿入箇所の指摘	50	76	76	78	73	75	73	72
	三	理由の要約	50	44	44	42	49	46	47	54
	四	語句の指摘	50	49	49	47	43	41	49	40
	五	述べ方の指摘	60	50	50	49	47	46	53	45
	六	語句の指摘	50	13	13	14	10	10	14	9
6	情報を適切に用いた文章の記述	50	54	54	48	53	58	57	47	
教 科 全 体		57	59	59	60	57	57	60	56	

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内			下 北 管 内			三 八 管 内		県全体		
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡	八戸市	三戸郡				
66	66	70	68	56	66	64	69	65	64	64	62	64	64	63	64
38	38	32	43	37	36	37	37	34	35	35	35	39	39	41	38
84	86	81	77	81	73	61	74	81	81	80	86	78	77	78	78
92	90	95	93	94	94	93	96	94	96	96	97	96	96	94	95
98	98	100	99	97	98	98	98	99	99	100	99	99	99	98	99
71	71	78	71	64	74	74	71	74	82	83	80	82	83	77	76
71	70	70	73	72	74	79	72	71	83	84	79	75	75	73	75
53	51	57	56	56	66	67	70	63	73	73	74	66	66	68	61
81	79	87	88	75	71	70	72	72	84	86	79	79	79	80	78
39	40	42	40	34	44	48	39	43	53	53	55	43	43	43	45
12	14	8	13	7	6	8	5	5	12	13	10	5	5	6	9
65	68	61	61	55	70	75	74	65	63	65	56	70	71	67	67
88	89	91	84	86	90	93	93	87	89	89	86	91	90	91	90
62	62	61	66	61	68	70	72	63	66	67	65	66	65	70	66
84	84	82	84	83	87	88	88	85	88	89	86	86	86	87	86
48	48	54	52	37	48	48	51	47	44	43	48	49	50	44	48
70	72	64	76	62	70	71	69	69	76	76	74	68	67	68	72
22	22	25	24	20	24	27	29	20	25	27	20	26	27	23	25
45	45	52	46	38	40	28	47	46	48	51	34	42	42	44	44
70	70	72	71	71	77	78	78	75	76	78	70	74	74	73	75
39	39	39	45	33	39	39	40	37	42	42	41	39	39	37	39
10	9	24	8	3	12	15	9	11	12	13	9	9	8	11	11
75	74	77	76	75	76	77	79	74	78	77	79	76	75	79	76
49	46	64	49	49	47	42	53	47	47	50	38	45	44	50	47
43	42	53	39	36	46	53	48	40	42	43	40	47	48	46	46
46	45	45	51	45	50	51	54	47	45	45	41	51	52	50	49
10	9	13	11	10	10	12	13	7	10	10	8	12	12	9	11
56	55	60	55	60	51	49	61	49	54	55	52	55	53	62	54
57	57	59	58	53	57	58	59	56	60	60	57	58	58	58	58

※通過率(%)は、「総正答数/総解答数」で算出した数値の小数点第1位を四捨五入した整数値で表しています。

※②-②通過率100%については、つがる市、黒石市は全員正答によるものであり、むつ市は四捨五入による整数値で表したものです。

## ウ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率(%)	主な誤答例(無答を含む) (カッコ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%であり、調査全体の誤答の割合とは異なる)
①	二	エ(42.5)、ア(33.5)、ウ(5.5)、無答(0.5)
②	三(1)	正しい字を指摘していない(35.0)、無答(12.0)、誤字を指摘していない(1.5)
	三(2)	正しい字を指摘していない(51.5)、無答(31.5)、誤字を指摘していない(7.5)
③	一	ウ(31.0)、エ(0.5)
	三	ウ(18.0)、イ(7.5)、ア(4.0)、無答(0.5)
④	三	質問の条件に合っていない(64.5)、無答(10.5)
	六	ア(34.5)、イ(15.5)、ウ(4.0)、無答(1.0)
⑤	五	ウ(28.0)、ア(10.0)、エ(5.5)、無答(2.5)
	六	一つ誤答(無答を含む)(34.0) [Iの誤答・無答17.5、IIの誤答・無答16.5] 二つ誤答(無答を含む)(29.5) [I・IIとも誤答19.0、Iが誤答・IIが無答2.5、Iが無答・IIが誤答8.0] 二つとも無答(24.5)

- ①二では、誤答の原因として、エを指摘する解答が多いことから、発表の述べ方について、事実と意見の関係に注意して聞き取る力が不足していることが考えられる。
- ②三(1)では、誤答の原因として、正しい字を指摘していない解答が多いことから、「辞退」の語について、語の意味を理解したり、話や文章の中で語句を適切に使ったりする力が不足していることが考えられる。
- ②三(2)では、誤答の原因として、正しい字を指摘していない解答が多いことから、「採る」の語について、語の意味を理解したり、話や文章の中で語句を適切に使ったりする力が不足していることが考えられる。
- ③一では、誤答の原因として、ウを指摘する解答が多いことから、現代語訳と照合しながら言葉の区切り方を確かめる力が不足していることが考えられる。
- ③三では、誤答の原因として、ウを指摘する解答が多いことから、現代語訳を参考に、文脈から主語を正確に捉える力が不足していることが考えられる。
- ④三では、誤答の原因として、抜き出す範囲が設問の条件に合わない解答が多いことから、設問の意図を的確に理解する力や、本文を読んで捉えた内容を条件に応じてまとめる力が不足していることが考えられる。
- ④六では、誤答の原因として、アを指摘する解答が多いことから、選択肢のそれぞれの文において、本文の内容を踏まえているかどうかを正確に捉える力が不足していることが考えられる。
- ⑤五では、誤答の原因として、ウを指摘する解答が多いことから、選択肢のそれぞれの文において、本文の内容を踏まえているかどうかを正確に捉える力が不足していることが考えられる。
- ⑤六では、誤答の原因として、無答の割合が高いことから、説明的な文章における筆者の思いを表している語句を捉える力が不足していることが考えられる。

## エ 今後の指導について

○課題の見られた問題 [4]六、[5]五

○出題のねらい

[4]六は文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつことができるかを判断する問題、[5]五は筆者の文章の述べ方について、適切なものを指摘することができるかを判断する問題である。出題の意図は、前年度の分析において、選択式問題におけるそれぞれの選択肢の内容を、本文を踏まえて正確に捉える力に課題が見られたため、本文を読んで部分と全体を関連付けて捉えることができるかを問う問題とした。

○分析結果と課題

[4]六及び[5]五では、分析の結果、選択肢のそれぞれの文が、本文の内容を踏まえているかどうか、正確に判断できていないと考えられる解答が多かった。

課題として、本文の内容を正確に捉えるために、語句に着目して解釈する力が不足していることが考えられる。

○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、文章の内容を正確に捉えさせるために、文章全体を読解させる指導と並行して、語句を捉えさせる指導を行うことが大切である。

### 指導例

#### 文末を置き換えることで文の内容を正確に捉えさせる、短時間の指導 ～説明的な文章を例にした指導例～

##### 【中心となる指導事項】

2 学年 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)

イ (ウ) 文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えること。

##### 【指導の流れ】

1 学習の見通しをもたせ、学習教材の中から一文を選ばせる。

**学習活動** 学習に見通しをもち、一文を選ぶ。



学習の続きに入る前に、教材中の文の内容を正確に捉える練習をしましょう。「文末置き換え」をするので、一文を選んでください。



本文の最初に「工場で様々なものをつくって働く人はよく『これをつくるのはかなり難しかった』という。」とあるから、これにしよう。

##### ポイント

・学習活動に慣れるまでは、五文節程度の短い文を選ばせるようにする。

2 「1」で選ばせた文の文末を、文中の別の語に置き換えさせて、同じ内容を表す文を考えさせる。

**学習活動**

「1」で選んだ文の文末を、文中の別の語に置き換えた文を考える。



「工場」を文末にして、最後は「様々なものをつくる工場だ」としてみよう。でも、最初はどうすればいいんだろう。

**ポイント**

- ・主語と述語の照応に注意させる。
- ・文末を置き換える際は、文全体が置き換える前と同じ内容で、前後のつながりが自然になるように、適宜、語尾を変えたり語を追加したりさせる。
- ・倒置法などの表現技法と関連付けて考えさせてもよい。

3 文末を置き換えた文を交流させ、その適否について互いに評価させる。

**学習活動**

「2」で考えた文を交流し、相互評価する。



それだと「工場だ」という述語に、主語が合わないと思います。「人」を文末にして、「よく『これをつくるのはかなり難しかった』というのは、工場で様々なものをつくって働く人だ」にすれば、内容が変わらないんじゃないかしら。

ぼくは最初の一文について、「工場」を文末にしてみました。すると、「よく『これをつくるのはかなり難しかった』というのは、様々なものをつくって働く人がいる工場だ」になると思いました。



私は「開けた缶の断面で指を切ることがある。」の文を選びました。「断面」を文末にして、「指を切ることがあるところは、開けた缶の断面部分だ」にしました。



**ポイント**

交流では、文末を置き換えた文の前後が自然なつながりになっているかを考えさせ、前後のつながりが不自然な場合は自然になるように考えさせる。

○課題の見られた問題 [5]六

○出題のねらい

[5]六は、文章に表れている筆者のものの考え方について、本文中から選択した語句を補充し、まとめることができるかを判断する問題である。出題の意図は、前年度の分析において、根拠となる正しい言葉が挙げられていないことに課題が見られたため、文章の要点をまとめる際の視点について話し合っている文に、筆者の思いが伝わる語句や言い回しを選択し補充できるかを問う問題とした。

○分析結果と課題

[5]六では、分析の結果、Iの解答では約4割が無答であった。また、IIの解答では、記入した中の約6割が、設問の条件を十分に捉えることができていると考えられる解答であった。

課題として、段落の要点を確認しながら文章全体の話の流れを捉えたり、前後の内容から語句の意味を捉えて筆者の気持ちや判断を考えたりする力が不足していることが考えられる。

## ○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、段落相互の関係や段落の役割を捉えること、語句が示すところの意味と段落全体が表すところの意味とを結び付けること、部分の具体的な表現を手掛かりにして全体としてどのようなことが言えるのかを自分の言葉で表現することなど、部分と全体とを関連付け、自分の言葉で意味付けて理解する力を高めることが大切である。

### 指導例

説明的な文章において、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもたせる指導  
～単元名「筆者の考えや思いに対する自分の感想を交流しよう」～

#### 【中心となる指導事項】

1 学年「C読むこと」(1)

オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること。

#### 【関連する指導事項】

1 学年「C読むこと」(1)

ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。

イ 文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。

エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。

#### 【指導の流れ】

1 全文を読ませ、分かりにくい表現について、語句の意味、文の成分、語の用法などに着目させながら、解釈を確認させる。

**学習活動** 分かりにくかったり意味が捉えにくかったりした段落や文を取り上げ、文脈に沿った語句の意味、主語と述語の関係、文と文のつながりや論の流れなどを確認して正確に文章の意味を捉える。

#### ポイント

- ・語句の示す意味や文法の正しい用法に従って、できるだけ正確に理解させる。
- ・文と文とのつながりに着目させ、順当に論が進められていることを確認させる。

2 筆者が取り上げた話題について、事実や例などを基にして説明している段落を捉えさせ、具体的に確認させる。

**学習活動①** 説明している段落に着目し、取り上げている話題について、何がどうであるかを整理する。



何について書いているのかをきちんと整理することが大事だね。  
ぼくは、箇条書きでまとめてみようかな。

私は表を使って整理する方が分かりやすいから、表に  
まとめてみるわね。



**学習活動②** 取り上げている話題に対し、筆者がどう結論付けているかをまとめる。



対象や話題についての結論は、最後の部分ばかりを見るのではなく、途中にはさまれている部分の結論も関連させてみると分かりやすいですよ。

**ポイント**

- ・対象や話題について「○○は、△△である。」と簡単にまとめるようにさせると整理しやすい。
- ・全体の結論ばかりではなく、部分の結論にも着目することも有効である。

3 筆者の考えや思いが強く表れている段落や部分を探し、つなげるとともに、筆者の考えや思いについて自分の言葉で表現させる。さらに、それについての自分の考えをまとめさせる。

**学習活動①** 筆者の考えが書かれている段落や部分の結論、思いが読み取れる語句、助詞や助動詞などに着目し、それを根拠に、筆者の考えや文章に込められた思いを捉える。



「これが～だったのです。」「そこに、～隠されていたのです。」という表現には、「○○」という考え方を生み出した昔の人への筆者の驚きを感じられるね。

**学習活動②** 筆者の考えや文章に込められた思いについて、自分の考えをまとめる。

私は、時代とともに「敬語」に込める感情の変化に、筆者が強い危機感を抱いているのではないかと感じました。その危機感に、私も共感します。  
.....  
この文章を読んで、言葉には感情が詰まっているということ意識して発言していかなければいけないと改めて思いました。



「結論」の段落や「筆者の主張」の段落以外にも、筆者の気持ちや立場が分かる表現を見付けることができたわ。

**ポイント**

客観的な説明以外の、例えば、「何と～なのである。」「やっと、～するにいたった。」「～こそ、～真実である。」など、書き手の判断や評価が読み取れるような表現に着目させ、そこから筆者の思いを読み取らせる。

4 各自でまとめた考えをグループで交流し合い、感想を述べ合う。

**学習活動①** 4人グループになって、前回まとめた自分の考えを発表し合い、発表について感想を述べ合う。



花子さんとは、筆者の考えに共感するという点では同じだけど、共感する観点が少し違ってね。

観点は違うけれども、太郎君の説明は、筋道が通っていてとても分かりやすく、納得のいくものだったわ。



**学習活動②** 単元全体を振り返り、文章の読み方について学んだことを整理する。

**ポイント**

- ・発表し合う際には、自分の考えと同じ部分と異なる部分を判断しながら聞かせる。
- ・文章の読み方についての確認は、文章の内容理解（分かったこと）と関連付けて整理させる。